

2019年7月25日  
東日本旅客鉄道株式会社  
横浜支社

## JR 武蔵小杉駅横須賀線ホームにおける安全性向上への取り組みについて

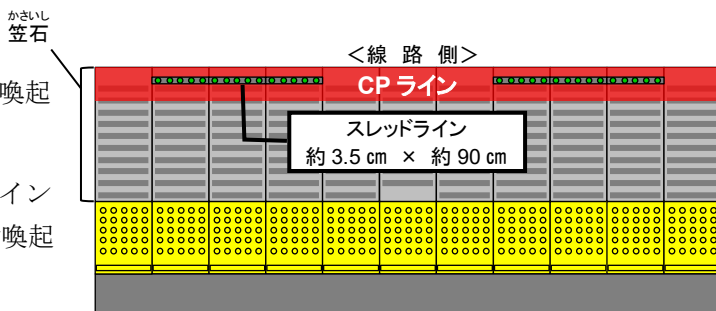
JR 東日本横浜支社では、これまで武蔵小杉駅及び駅周辺の混雑緩和・安全性向上などを目的として、2018年4月に新南改札への入場専用臨時改札とエスカレーターの設置、南武線下りホームの一部拡幅を実施したほか、2019年3月には平日朝の通勤時間帯に横須賀線を1本増発するなど、様々な対策に取り組んでまいりました。更に、2023年度には横須賀線下りホームの新設（2面2線化）も計画しています。

この度、ホーム上の更なる安全性向上を目的とし、横須賀線ホームにスレッドラインおよび転落防止注意喚起センサーを整備いたします。

### 1. 計画概要

#### (1) スレッドライン整備

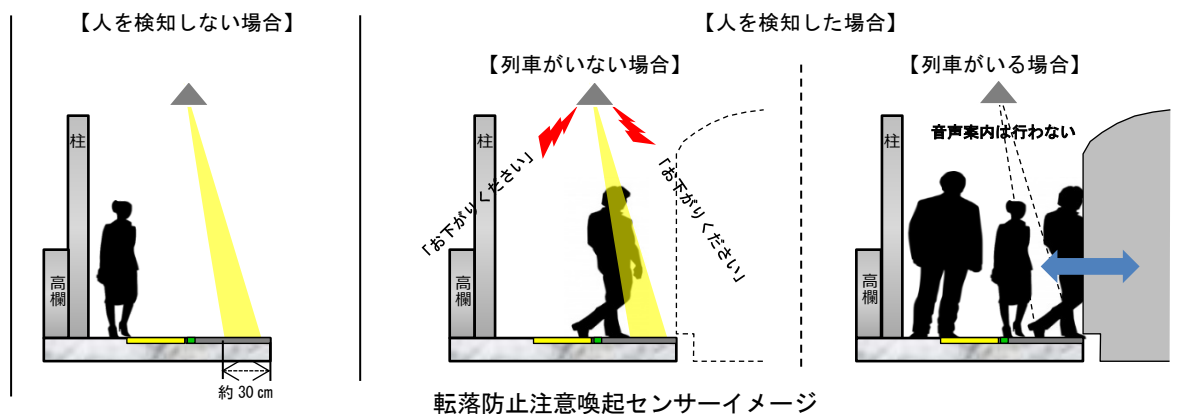
- ・列車進入時にホームでお待ちのお客さまへの注意喚起を目的として、スレッドラインを整備します。
- ・列車が到着する際に、<sup>かさいし</sup>笠石に設置したスレッドラインが進行方向に流れるように点滅し、視覚的な注意喚起を図ります。



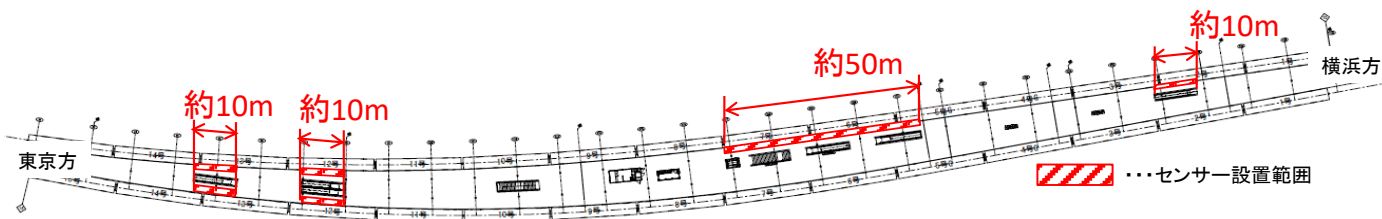
スレッドライン設置イメージ

#### (2) 転落防止注意喚起センサー整備

- ・階段およびエスカレーター設置箇所などのホームの狭い場所におけるお客さまの転落防止を目的として、転落防止注意喚起センサーを整備します。
- ・センサーが人及び列車を検知して、音声による注意喚起を行います。



転落防止注意喚起センサーイメージ



転落防止注意喚起センサー 設置箇所

## 2. 使用開始予定時期

- ・スレッドライン： 2020年3月末
- ・転落防止注意喚起センサー： 2019年11月末

※工事等の進捗などにより、変更となる場合があります。